

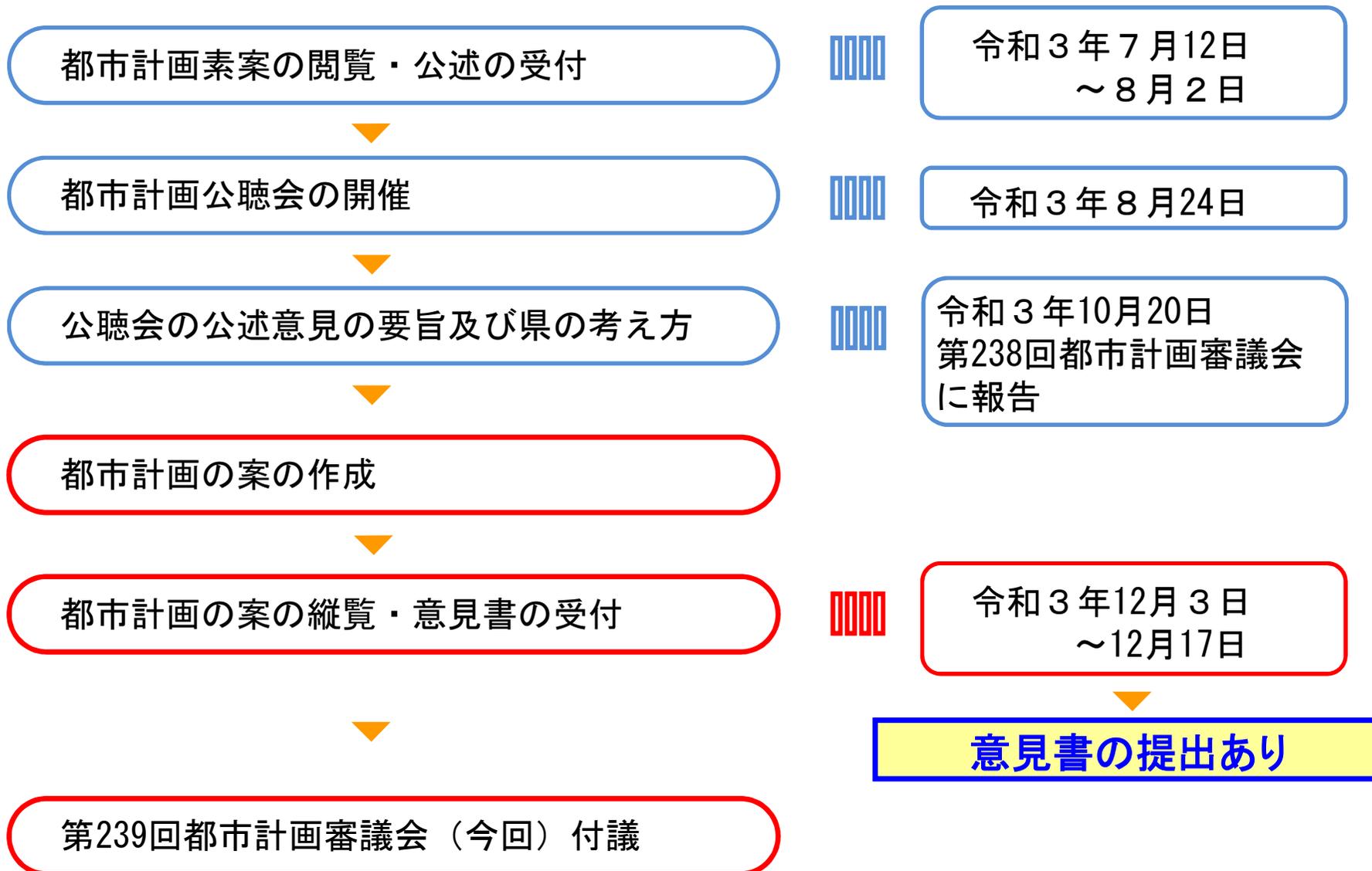
議第4392号

鎌倉都市計画 道路の変更 (3・5・7号腰越大船線)

- ・ 議案書 1ページ ~ 4ページ
- ・ 図面集 1ページ ~ 2ページ
- ・ 都市計画の案に対する意見書の要旨と
都市計画決定権者の見解
1ページ ~ 3ページ

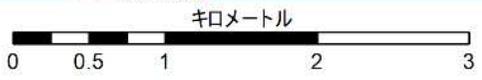
鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

■ 縦覧等の手続き



鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

鎌倉市 位置図

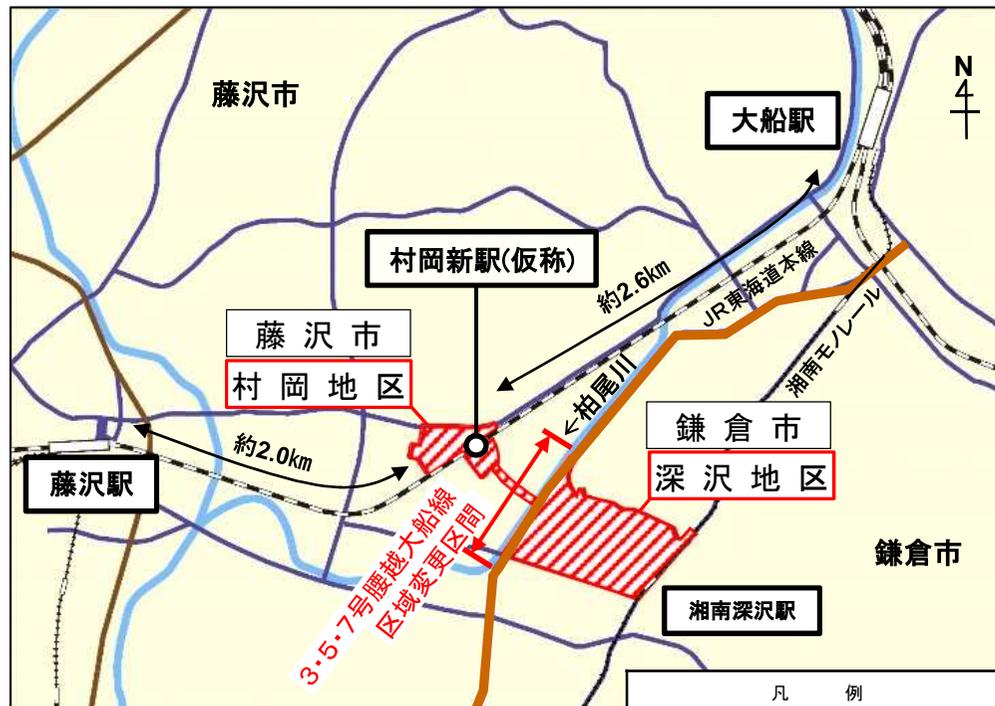


この地図・成果は、測量法の公共測量に関する規程に基づき、横浜市長（横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第9103号）、鎌倉市長（複製承認番号（鎌倉市指令都計第21号）、藤沢市長及び逗子市長の承認を得て、同市所管の測量成果を使用して調製したものです。
 この図面は、横浜市（横浜市建築局都市計画基本図データ及び都市計画決定データ（地図情報レベル2500））により作成、鎌倉市、藤沢市及び逗子市との協議を経て、同市作成の都市計画決定データを使用して作成したものです。

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

深沢地区・村岡地区の概要

位置図

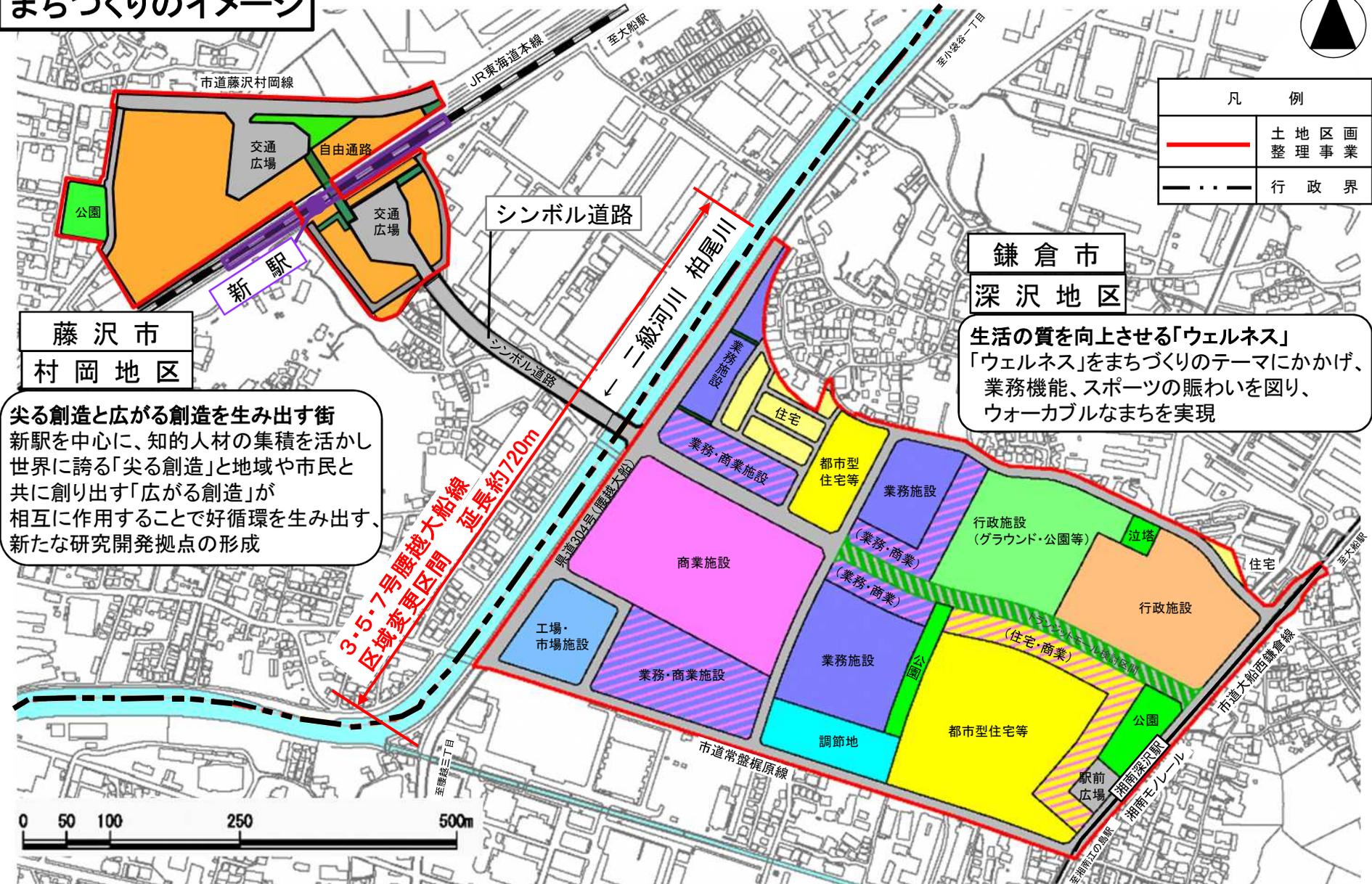


空中写真



鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

まちづくりのイメージ



※土地利用計画(案)、空間整備イメージは、今後変更する場合があります。

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

【上位計画における位置付け】

■ 鎌倉都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 （平成28年11月）

第1章 三浦半島都市圏域の都市計画の方針

2 三浦半島都市圏域における基本方針

(4) 「自立と連携」の方針

① 自立に向けた都市づくり

ウ 新たな地域の拠点

(ア) 「村岡・深沢地区」においては、JR藤沢駅～JR大船駅間の新駅設置に向けた取組と新たな都市拠点の形成を進める。

第2章 鎌倉都市計画区域の都市計画の方針

3 主要な都市計画の決定の方針

(3) 市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

① 主要な市街地開発事業の決定の方針

ウ 深沢地域国鉄跡地周辺地区では、大規模工場跡地や旧国鉄清算事業団跡地等を中心に、面的に一体整備を行うとともに、隣接する藤沢市村岡地区の新駅を中心としたまちづくりと連携を図りながら、都市基盤施設の整備を図る。

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

【上位計画における位置付け】

■ 鎌倉市都市マスタープラン（平成27年9月）

II 都市マスタープランの基本方針

2. 骨格的な都市構造

(2)安全で活力のある都市空間の形成

①拠点の整備

鎌倉駅周辺、大船駅周辺、深沢地域国鉄跡地周辺の3地区を都市拠点とし、都市機能の集積と、市民生活の向上を図る拠点として位置付けます。

III 部門別方針

1. 土地利用の方針

3-4. その他の主要な土地利用の方針

1) 類型別土地利用の方針

(1) 新都市機能導入地-新たな都市機能の導入

② 将来土地利用イメージ

深沢地域国鉄跡地周辺については、都市拠点という位置付けを踏まえ、東海道本線新駅構想を視野に入れ、土地区画整理事業により、住宅と商業・業務機能、医療福祉機能等を導入します。

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

【上位計画における位置付け】

■ 藤沢都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 （平成28年11月）

第1章 湘南都市圏域の都市計画の方針

2 湘南都市圏域における基本方針

（4）「自立と連携」の方針

① 自立に向けた都市づくり

エ 新たな地域の拠点

（ア）「村岡・深沢地区」においては、JR藤沢駅～JR大船駅間の新駅設置に向けた取組みと新たな都市拠点の形成を進める。

第2章 藤沢都市計画区域の都市計画の方針

3 主要な都市計画の決定の方針

（1）土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

① 主要用途の配置の方針

ア 商業・業務地

（ア）拠点商業・業務地

・（仮称）村岡新駅周辺地区においては、広域交流を育む拠点の形成とともに、身近な商業サービス機能、コミュニティ機能、研究開発機能、業務機能等の新たな地域の拠点として位置づけ、充実を図る。

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

【上位計画における位置付け】

■ 藤沢市都市マスタープラン（平成30年3月）

第2章 全体構想

2 目標とする都市

2 将来都市構造

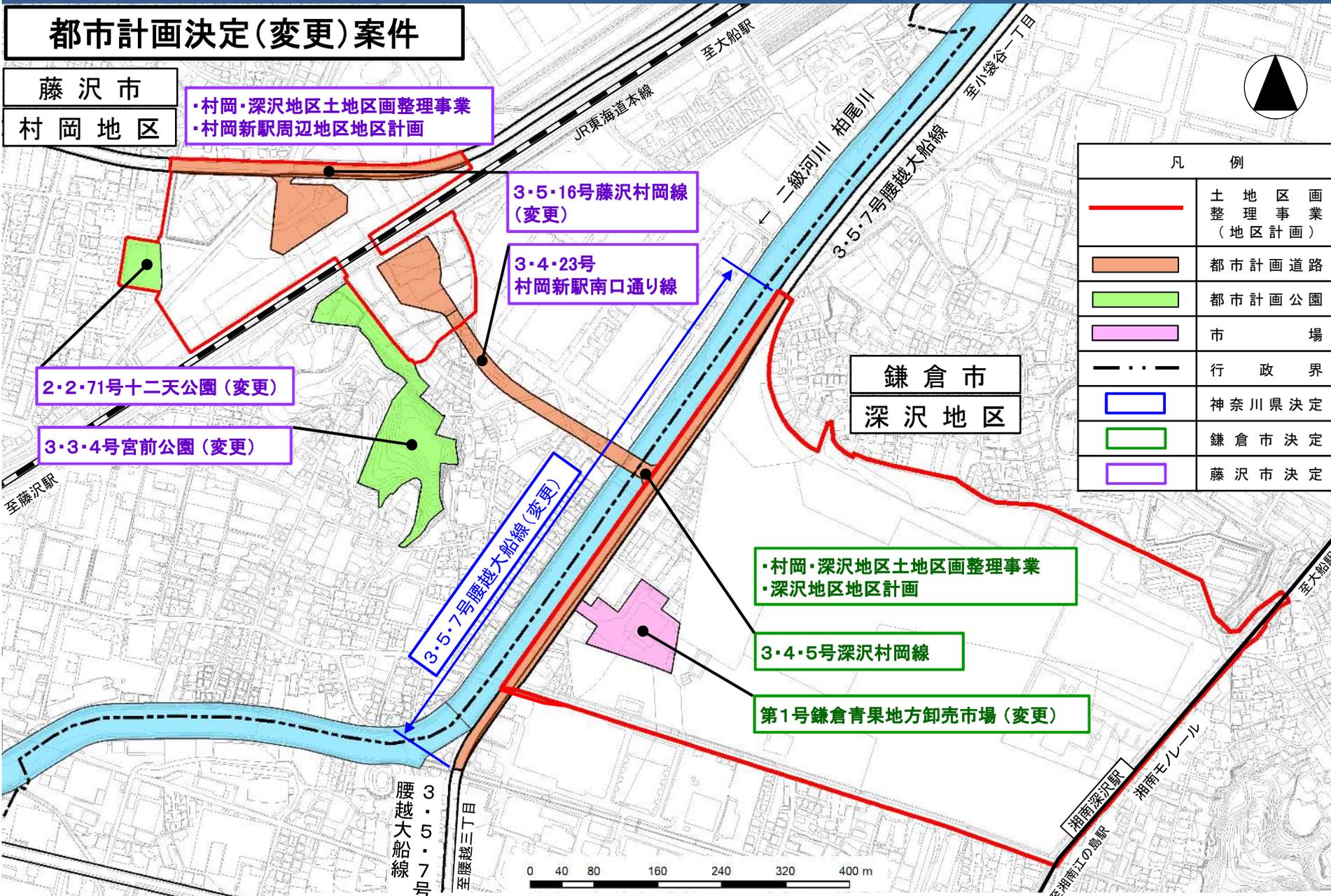
②都市拠点

〈形成の方向〉

■（仮）村岡新駅周辺【研究開発拠点】

（仮）村岡新駅周辺では鎌倉市の湘南モノレール・湘南深沢駅周辺と連携、一体となり、先進的な研究開発、生産、業務機能が集積した広域に発信する拠点の形成をめざすとともに、地域サービスの充実を図ります。

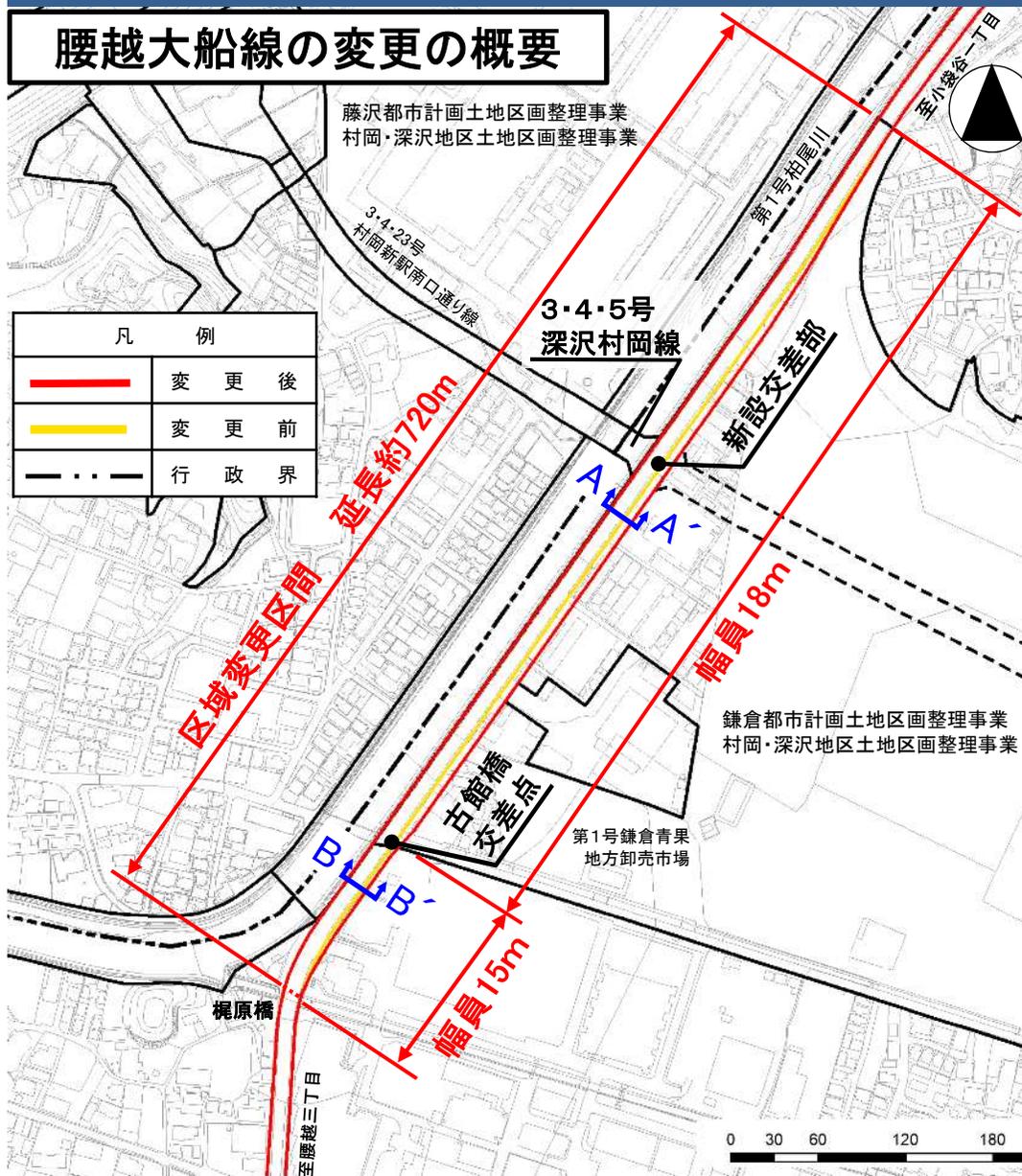
鎌倉都市計画 道路の変更 (3・5・7号腰越大船線)



・この地図・成果は、測量法の公共測量に関する規程に基づき、鎌倉市長(複製承認番号(鎌倉市指令都計第21号))及び藤沢市長の承認を得て、同市所管の測量成果を使用して調製したものです。
 ・この図面は、鎌倉市及び藤沢市との協議を経て、同市作成の都市計画決定データを使用して作成したものです。

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

腰越大船線の変更の概要



変更前

横断面図



変更後

横断面図(A-A')



変更後

横断面図(B-B')



・この地図・成果は、測量法の公共測量に関する規程に基づき、鎌倉市長(複製承認番号(鎌倉市指令部計第21号))及び藤沢市長の承認を得て、同市所管の測量成果を使用して調製したものです。
 ・この図面は、鎌倉市及び藤沢市との協議を経て、同市作成の都市計画決定データを使用して作成したものです。

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

【まとめ】

項目	決定内容
種別	幹線街路
名称	3・5・7号腰越大船線
延長	約 6,340m
車線の数	2車線
幅員	12m
構造形式	地表式

「**区域及び構造**は計画図表示のとおり」

鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

■ 鎌倉市決定の関連案件

- 土地区画整理事業の決定（村岡・深沢地区土地区画整理事業）
- 道路の決定（3・4・5号深沢村岡線）
- 市場の変更（第1号鎌倉青果地方卸売市場）
- 地区計画の決定（深沢地区地区計画）

鎌倉市 都市計画審議会（令和4年1月21日開催）

■ 藤沢市決定の関連案件

- 土地区画整理事業の決定（村岡・深沢地区土地区画整理事業）
- 道路の決定（3・4・23号村岡新駅南口通り線）
- 道路の変更（3・5・16号藤沢村岡線）
- 公園の変更（2・2・71号十二天公園、3・3・4号宮前公園）
- 地区計画の決定（村岡新駅周辺地区地区計画）

藤沢市 都市計画審議会（令和4年2月1日開催）

都市計画の案に対する意見書の要旨と都市計画決定権者の見解

■ 意見書数

	通数	人数
賛成	—	—
反対	1通	1人
その他	1通	1人
合計	2通	2人

■ 意見書の分類

区分	内容	人数
反対	都市計画変更の区間について	1人
その他	道路の構造について	1人

都市計画の案に対する意見書の要旨と都市計画決定権者の見解

■鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

【反対】 都市計画変更の区間について

意見書の要旨	都市計画決定権者の見解
<p>○ 3・5・7号腰越大船線（延長約6,340m、幅員12.0m、2車線）の変更は、区域変更区間の延長が約720mであり、腰越・大船間を全て変更していないため反対である。</p>	<p>○ 今回の腰越大船線に係る都市計画の変更は、新たに村岡・深沢地区土地区画整理事業等が都市計画に定められることに併せて行うものです。</p> <p>○ 具体的には、古館橋交差点及び新設交差点において交通の円滑な処理を図るため右折車線を設置するとともに、土地区画整理事業の隣接区間において歩行者や自転車の安全快適な通行を確保するため歩道の拡幅及び自転車通行帯を設置しようとするものです。</p> <p>○ これらに必要な区間として延長約720mを変更するものであり、現時点において、その他の区間について都市計画を変更する必要はないと考えています。</p>

都市計画の案に対する意見書の要旨と都市計画決定権者の見解

■鎌倉都市計画 道路の変更（3・5・7号腰越大船線）

【その他】 道路の構造について

意見書の要旨	都市計画決定権者の見解
<p>○ 当該変更区間は、柏尾川の浸水区域であるため、洪水を吸収できる道路設計にしてほしい。従来型の道路構造では不十分と考える。吸水型の舗装工法を検討してほしい。</p>	<p>○ 都市計画に定める事項については、都市計画法及び同法施行令等に規定されており、道路の構造については、車線の数、幅員及び嵩上式、地下式、掘割式又は地表式の別等とされ、舗装の仕様等は都市計画に定めるものではありません。</p> <p>○ 今回変更区間における工事は深沢地区の土地区画整理事業の中で行う予定であることから、舗装の仕様等については、鎌倉市が道路管理者である県と調整しながら、今後検討していくこととしています。</p> <p>○ また、鎌倉市は、深沢地区の土地区画整理事業に隣接する区間については、概ね100年に一度発生する降雨を想定した境川水系洪水浸水想定区域図（河川整備の計画規模）における浸水深を見据え、道路の高さを検討するとしています。</p>